

よしまさ 望月芳将後援会会報

発行日 平成 20 年 1 月 Vol.5

発行元 望月芳将後援会
会長 渡辺 博司

〒418-0067 富士宮市宮町 2-9
TEL 0544-26-4421 FAX 0544-26-4425
URL : <http://www.m-yoshimasa.com>
E-mail : yoshi@m-yoshimasa.com

9 月定例会 一般質問 滞納問題で債権回収係を提唱

第二回目の質問のテーマは 2 つ『広域行政の今後の展開』と『税や公共料金の未納・滞納問題』でした。

1 つ目の広域行政は、「消防の指令業務の人口 30 万人規模での広域化との政府方針を受け、県や市町での対応はいかに」という点と、「今後あらゆる公共施設の老朽化による建替えと、それを行う上での組織体制の再編、広域化」により財政基盤の強化が求められると思うが当局の考え方を伺いました。

当局も 10 年後の建替えには、おのずと広域化の議論は避けられないとの考えを示しました。私は、単なるリストラを図る広域化でなく、お互いが補い合うような形、言わば、ネットワーク的な考えによる広域化への進展を要望しました。

また二つ目の滞納問題は、庁内横断的な組織を作るべきと主張しました。このことにより、11 月議会で機構改革により債権回収係が新設されました。



◆ 決算委員会

平成 18 年度決算を 9 月定例会の会期中で行いました。毎年のように 2 月議会は予算、9 月は決算をそれぞれ審議されています。私は 4 月に当選を果たしたばかりで平成 18 年度予算と共に勉強をしなければならず、会派の横山議員と頭を抱えていました。そこに、会派の代表である吉田晴幸議員が会派として勉強会を 3 日間集中して開いていただきました。問題点や疑問点・課題などをレクチャーされ、自分なりの質問として 2 日間の審議に挑みました。朝 9 時より午後 5 時までの集中審議は発言瞬間を逃さぬよう（“なし”と言われて次に進まれてしまわぬよう）緊張の連続でした。

電話帳のような厚い決算書を細かく款別に審議するので、とても長く疲れた 2 日間でした。





11月定例会 一般質問 地域分権に向けて地域力向上を

『地方分権の進む中で、自立した地域社会をどう確立していくか?』これが私の政治テーマとして選挙戦で訴えてきたことです。

平成20年度より富士宮市は、庁内分権を進めるために、機構改革を行いました。私は、国の進める分権改革は、市民や地域にまで及ぶ改革であると強く感じております。人口減少社会の到来により生産人口の減少、税収の減等により、行政依存の自治から脱却しなければならない時代がすぐそばにまで来ていると強く感じておりました。

そこで、定例会一般質問で、行政・地域・住民・企業それぞれの役割分担をすることこそが分権であると考え、地域分権の必要性を訴え、地域力向上に向けた取組みについて質問をしました。

新たなる視点での質問であるために、各分野に渡る現状と問題点や課題について議論を交わしました。最大の問題である地域協力者の高齢化について、団塊の世代や若年層の地域デビュー対策など取組み、また当局より先進事例等の報告などありました。

◆ 当局提案議案 1 件を否決

市営墓地条例を否決しました。当局提案の議案を否決、しかも全会一致での否決はめずらしいことです。議会側は、舞々木墓地の再貸付について現状の区画・面積では、民間と比べ広くて高額であるため、再分割し市民が広く求めやすくするよう要求した結果でありました。

望月芳将後援会



『新年の集い』

開催お知らせ

平成20年1月26日(土)

午後6時30分より

富士宮市民文化会館小ホール

会費 2,000円

政務調査費関係報告

会派行政視察 平成19年8月7日～9日

- ・兵庫県加東市 大規模土地利用
『無量壽寺』進出について
- ・福井県若狭町『熊川宿のまちづくり』について
- ・岐阜県白川町 大規模土地利用
『無量壽寺』進出凍結について

● 政務調査費より

交通費 31,688円 宿泊費等 35,583円

その他 4,200円

支出させて頂きました。

- ◆11月議会の一般質問で研修内容を取上げさせて頂きました。

全国都市問題会議 平成19年10月11日～12日

- ・静岡文化センター
テーマ
『分権時代の都市とひと 地域力・市民力』

● 政務調査費より

研修費 10,000円 交通費等 6,580円

支出させて頂きました。

- ◆11月議会の一般質問で研修内容を取上げさせて頂きました。